

フレックスセンサーの取付け方法

必要品

LKL2800本体

I型フレックスセンサー

絆創膏またはサージカルテープ（幅1.5cm位、長さ10cm位のもの2本）

その他：メッシュ包帯など

A. 本体にセンサーを装着します。



プローブブロックを開き



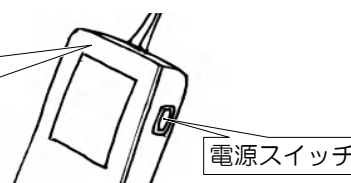
プラグを差込み



プローブブロックを閉じます。

B. 本体が電源オンになっていることを確認してください。

電源がオンのときは
緑色のパイロットラ
ンプが5秒ごとに短く
点灯します。



C. I型フレックスセンサーを次の要領で指先に正しく装着してください。

- ① センサーに10cm位の長さの絆創膏を図のように貼ります。（図1）
- ② センサーの発光部と受光部が指を挟んで正しく合うように指を置き、コードが付いている側を指に覆いかぶせます。（図2）
- ③ 両側にのばした絆創膏で仮止めします。（図3）

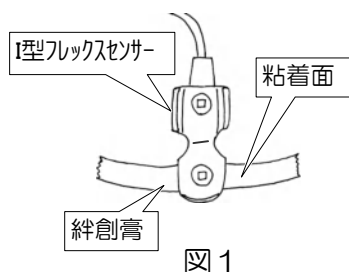


図1

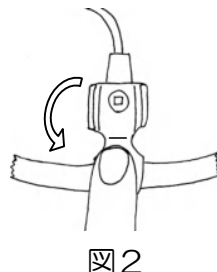


図2

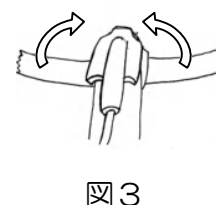


図3

④ センサーが正しく装着されているか確認してください。

- ・ 脈拍インジケータ(図4)が脈拍に同期して安定して表示され、湍流インデックスインジケータ(図5)が良好なレベルで表示されていることを確認してください。



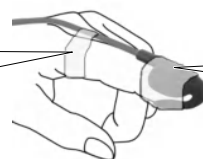
図4

- ・ 絆創膏を適度な力で巻いてセンサーと指先を固定してください。または市販品のメッシュ包帯をかぶせてセンサーがはずれないようにしてください。

図5



絆創膏で固定する



絆創膏あるいは市販品のメッシュ包帯で固定する

D. 指の第2関節と第3関節の間あたりに1箇所絆創膏で固定して、センサーのコードが引っ張られても装着部に影響しないようにします。

E. センサーのコード及び本体を邪魔にならない場所に配置します。